

# CO-OP・EVプロGRESS

CO-OP EcoVehicle PROGRESS  
INFORMATION JOURNAL  
FOR SOLVING PROBLEMS CAUSED BY VEHICLES

自動車排ガスによる大気汚染を防止し、  
健康維持と職場・地域・地球環境の保全のために———  
車両の低害化と現実的な低公害車両の開発普及を目指す情報誌

お世話になりました。  
コープ低公害車開発機は3月で活動を終了します



DMEトラック 2トン車登場！！  
いすゞ中央研究所で！！



いよいよ 走りだします。  
ご期待ください。

**最終号**

**3**

2006年3月15日  
**月号**

通巻第182号 (創刊1990年6月)

LPGトラック 各地の生協で確実に拡大中

**前月比 +32**

2006年3月6日現在

**5,499台** (先月5,467台)

転換率 **35.38%**

(3台に1台超えがLPGトラックに！！)

LPGトラックは全国の生協が育てた  
実用的な低公害車です。

# CO-OP・EVプログレス

## 3月号

ご挨拶	16年間お世話になりました。3月でコープ低公害車開発株式会社を閉鎖いたします。	2		
ご挨拶	各生協が各自、様々な形で、環境問題に取り組んでまいります。	3		
感謝	LPガス自動車普及促進協議会 様より感謝状をいただきました。ありがとうございました。	4		
ご挨拶・お願い	車両管理担当者 各位 大変お世話になりました。今後のご連絡先などご紹介いたします。	5		
協賛会員芳名録	ありがとうございました。	7		
特集	車両低害化推進のために コープ低公害車開発株式会社 若狭良治	8		
DME特集	DME自動車普及推進委員会 が民間企業で結成されます。2006年3月中に発足	22		
	北九州学研研究都市 DME小型コージェネレーション(熱伝供給)完成	24		
	北海道新聞記事 釧路・臼糠実験設備 2006年度で実証研究終了。設備は解体処理。	28		
	関連記事 電力中央研究所 電気新聞記事	30		
	関連記事 日揮、燃料電池車用のDME改質システム開発へ	32		
関連記事 画期的低NOx濃度を実現 クリーンエネルギー利用・DMEエンジンの開発	33			
水素・アンモニア	来るのは意外やアンモニアか?	35		
	LPG車の需要創出 2000年度26万台へ業界結束	37		
LPG特集	CO2削減へ物流走る 陸運業界 天然ガス・LPG車を配置	38		
	環境にやさしいLPG自動車 茨城新聞記事	40		
国際セミナー	DME国際会議・セミナー案内 DMEトラック アメリカに上陸 ワシントンDCで	41		
	韓国ソウルで第3回アジアDME会議が開催されます	44		
	第2回 世界DMEフォーラムがロンドンで開催されます	45		
LPG情報	全国生協LPG・ガソリン・軽油価格比較表 資料 TOPICS LPG輸入価格推移	47		
	全国生協LPGトラック導入状況	54		
	全国LPGトラック導入台数 順位表	56		
	全国LPGトラック導入転換率 順位表	58		
目次	1989年以来のコープ電動車両開発株式会社の前史及び電気トラックからLPGトラックへの変遷、その後の生協とコープ低公害車開発株式会社の活動を振り返りましたが、この3月でコープ低公害車開発株式会社を閉鎖することになりました。出資者である生協の都合もあり、皆様十分説明をする時間ありませんでした。申し訳ありませんでした。この間、皆様に様々なお世話になりました。6月20日まではホームページを開設しておりますし、若狭は清算人として6月までは清算事務に携わります。よろしく申し上げます。若狭	60		
月刊誌	CO-OP・EVプログレス(最終号)	発行	毎月1日	2006年3月15日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治	
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル 2F 〒222-0033			
TEL	090-3144-3151(若狭)	FAX	048-854-5009(清算人事務所)	
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp	
URL	http://www.co-opev.co.jp/ 6月20日まで掲示します			

# CO-OP・EVプログレス

CO-OP EcoVehicle PROGRESS  
Information Journal  
for Solving Problems Caused by Vehicles

自動車排ガスによる大気汚染を防止し、  
健康維持と職場・地域・地球環境の保全のために———  
車両の低害化と現実的な低公害車両の開発普及を目指す情報誌

**ATLAS New LPG**



生協グループ(4社)

コープ低公害車開発株式会社

TOCHU ENEX CO.LTD.

Atsuta Sol Tech

Atlas New LPGは、日本環境規格適合車格認定を受けています。  
詳細は生協各社、日産自動車株式会社までお問い合わせください。

日産自動車株式会社

**いよいよ発売を開始します。**

特集 報道記事に見る「生協」  
とコープ低公害車開発の16年

LPGトラック 各地の生協で確実に拡大中

**前月比 -2台**

2006年1月26日現在

**5,467台** (先月5,469台)

転換率 **35.08%**

(3台に1台超えがLPGトラックに!!)

LPGトラックは全国の生協が育てた  
実用的な低公害車です。

**2**

2006年2月1日

**月号**

通巻第181号 (創刊1990年6月)

編集・発行 コープ低公害車開発株式会社

# CO-OP・EVプログレス

## 2月号

お知らせ	CO-OP New LPG CARGO 「日産アトラス10」	2	
特集	報道記事に見る「生協」とコープ低公害車開発の16年	4	
	2005年	4	
	2004年	5	
	2003年	6	
	2002年	7	
	2001年	9	
	2000年	9	
	1999年	12	
	1998年	13	
	1997年	15	
	1996年	16	
	1995年	20	
	1994年	21	
	1993年	26	
	1992年	29	
	1991年	36	
	1990年	44	
	1989年	46	
		全国生協LPG・ガソリン・軽油価格比較表 資料 TOPICS LPG輸入価格推移	51
	LPG情報	全国生協LPGトラック導入状況	56
物流事業者の導入状況 流通サービス		58	
協賛会員情報	協賛会員 ご芳名録	59	
目次	<p>今月は、1989年以來のコープ電動車両開発株式会社の前史及び電気トラックからLPGトラックへの変遷、その後の生協とコープ低公害車開発株式会社の活動を振り返りました。</p> <p>来月号では、低公害車に関わる知見等の総まとめを行います。</p> <p>いよいよ、CO2削減・高効率化追求のNew LPGトラックを販売を開始します。さらに自動車メーカーと協議して品質の向上を図りますので、多数のご要望をお寄せください。</p>	60	
月刊誌	CO-OP・EVプログレス	発行 毎月1日 2006年2月1日	
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者 若狭 良治	
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル	2F 〒222-0033	
TEL	045-472-7913	FAX 045-472-7924	
メール	head@co-opev.co.jp	メール wakasa@co-opev.co.jp	
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

# CO-OP・EVプロGRESS

CO-OP EcoVehicle PROGRESS  
Information Journal  
for Solving Problems Caused by Vehicles

自動車排ガスによる大気汚染を防止し、  
健康維持と職場・地域・地球環境の保全のために——  
車両の低害化と現実的な低公害車両の開発普及を目指す情報誌

## 謹賀新年



LPGトラック 各地の生協で確実に拡大中

**前月比 +2台**

2005年12月20日現在

**5,469台** (先月5,467台)

転換率 **35.03%**

(3台に1台超えがLPGトラックに!!)

LPGトラックは全国の生協が育てた  
実用的な低公害車です。

# 1

2006年1月1日

**月号**

通巻第180号 (創刊1990年6月)

編集・発行 コープ低公害車開発株式会社

# CO-OP・EVプログレス 1月号

FORUM eye	クリーントラック市場を席巻するか新型「日産アトラス10」	2
報道記事	車両低害化へシンポジウム DME混合燃料で新LPG燃料	3
	日・中・韓 車両低害化シンポ 開催 コーブEV	4
	先進LPG車普及へセミナー 気体噴射システム採用開発メーカーがPR	4
	車両低害化へシンポジウム コーブ低公害車開発 LPG、ディーゼルの新技術報告	5
関連記事	ナノ粒子の科学的知見の公開を継続すべき 日刊自動車新聞 社説(11月21日)	6
ガス燃料自動車	トレンド・アイ ガス燃料自動車、相次ぎ新モデル 商用車に加えマイカー など	7
	CNG、LPG利用の低公害車 燃料噴射系技術が相次ぎ実用化	10
DME発電システム	大幅なNOx低減実現 国内主要都市基準クリア EGR装置採用で達成 DME利用発電	11
LPGトラック	LPG自動車普及促進講演会 「LPGトラックの導入と今後の課題」	15
シンポジウム資料	車両低害化推進のためのシンポジウム2005 「韓国の自動車産業」講師 李 大燁(イ・デョブ) 韓国仁荷(インハー)教授	28
JOGMEC情報	JOGMEC NEWS Vol.2 2005.11 石油天然ガス・金属鉱物資源機構	50
LPG情報	全国生協LPG・ガソリン・軽油価格比較表 資料 TOPICS LPG輸入価格推移	56
	平成17~21年度 液化石油ガス 需要見通し	59
	全国生協LPGトラック導入状況	60
	物流事業者の導入状況 流通サービス	62
協賛会員情報	協賛会員 ご芳名録	63

謹賀新年 新年明けましておめでとうございます。

コープ低公害車開発株式会社は、今年6月で、創立16年目を迎えます。この間、様々なことがありました。15年前というと、街中には黒煙を出すディーゼルトラックが走り回っていました。しかし、当時のコープ自動車開発株式会社(当時)は、電気トラックの実現のためにまい進していました。電気トラックは排ガスを出さない自動車ですから、軽油ディーゼル車の排ガス問題の解決は目的ではありません。電気自動車になれば解決するからです。同じことが燃料電池自動車でも言われています。排ガスは水なのだから。しかし、燃料電池(FC)と燃料電池自動車(FCV)は別物です。電気は実用化して広く普及していますが、電気自動車の普及はまだです。それは、自動車の燃料は地上のインフラと切り離されるからです。燃料電池で言うと、一番の問題は燃料の水素を単体で製造したり、運ぶことが極めて困難だということです。作ることは可能ですが、コストを考えた場合、あるいは、CO2の発生を抑えるという立場で見るときわめて困難になります。「再生可能」と「持続可能」ということは、今後のエネルギー問題を考えると極めて重要な要素ですが、決して簡単なことではありません。LPG自動車は、韓国の事例を見ても、可能性は泰のですが、技術的研究開発要素もまだまだあります。自動車メーカーが全てではありません。ユーザーが努力することが要らなくなったわけでもないのです。

月刊誌	CO-OP・EVプログレス	発行	毎月1日	2006年1月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治	
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル		2F 〒222-0033	
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924	
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp	
URL	http://www.co-opev.co.jp/			

# CO-OP・EVプロGRESS

CO-OP EcoVehicle PROGRESS  
Information Journal  
for Solving Problems Caused by Vehicles

自動車排ガスによる大気汚染を防止し、  
健康維持と職場・地域・地球環境の保全のために———  
車両の低害化と現実的な低公害車両の開発普及を目指す情報誌

## DMEトラックナンバー取得



世界初、日常業務に使用!

12

2005年12月1日

月号

通巻第179号 (創刊1990年6月)

LPGトラック 各地の生協で確実に拡大中

**前月比 +17台**

2005年11月29日現在

**5,467台** (先月5,423台)

転換率 **35.03%**

(3台に1台超えがLPGトラックに!!)

LPGトラックは全国の生協が育てた  
実用的な低公害車です。

# CO-OP・EVプロGRESS

12月号

PRESS_RELEASE	DMEトラック 世界初の業務用公道走行を開始	2
	次世代燃料DMEトラック 公道走行を開始 神奈川新聞・日経産業新聞	4
報道記事	DME関連記事 東京電力・JFE・三菱化学 DME発電施設 実証実験	5
	車両低害化推進のためのシンポジウム2005 輸送用燃料の2つの課題浮き彫りに	6
寄稿	「ディーゼル排ガス胎児期暴露の脳神経系及び生態系への影響」の講演を聴いて 阿部よし子	10
開催報告	車両低害化のためのシンポジウム2005 開催報告	12
	全国生協LPG・ガソリン・軽油価格比較表	20
LPG情報	全国生協LPGトラック導入状況	24
	物流事業者の導入状況 流通サービス	26
協賛会員情報	協賛会員 ご登録名簿	27
	表紙・目次(スケジュール)	29
車両低害化推進のためのシンポジウム2005報告資料	大気中微粒子の健康科学 ディーゼル排ガス胎児期暴露の脳神経系及び生態系への影響	31
	京都議定書目標達成のためのLPG車の普及とCO2削減・高効率化の実現	40
	クリーンディーゼルの将来技術	65
	コープ低公害車開発株式の15年の活動と今後の課題	102
	中国・韓国の報告は1月号に掲載します。	

「車両低害化推進のためのシンポジウム2005」をおかげさまで無事終了することができました。皆様に感謝申し上げます。

昨年に引き続き、中国・上海交通大学の黄震教授や韓国・仁荷大学の李大燦(イ デヨブ)教授に、新たに中国・全国清潔自動車行動協調領導小組專家組の王秉輝組長(中国自動車技術研究中心 顧問)をお招きすることができました。様々な方々に支えられて、資料の翻訳から通訳までお世話になりました。厚く御礼申し上げます。

また、日本国内からは、いすゞ中央研究所の西村部長に貴重な情報をいただきました。また、ここ数年、一緒に仕事をさせていただいている伊藤忠エネクス古田部長に、京都議定書の目標を達成するために業界としてLPG車の26万台普及をさせるための努力と決意を語っていただきました。

また、共に頑張っているLPG車のCO2削減、高効率化のために日産特販、ニッキソルテックなどのニッキグループとの努力の結果を写真で示してくれました。

今度の取り組みで開発したVIP/LPG小型トラック(日産アトラス10 LPG)は、生協の現場で働くにふさわしい性能と環境対応、コストパフォーマンスに優れた車両です。

1月以降、希望生協での試乗や実装走行を行えるよう準備をしております。

希望の生協や生協の配送を請け負っている運送事業者の要望にお応えしますので、ぜひとも希望をお寄せください。メールでもFAXでも結構です。よろしくお願いいたします。

次号は、2006年1月1日号です。新たな飛躍を願い、よろしくお願いいたします。

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更の方は、下記にメールないしはFAXでお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプロGRESS	発行	毎月1日 2005年12月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル 2F 〒222-0033		
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

CO-OP・EVプロGRESSは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。

# CO-OP・EVプログレス

CO-OP EcoVehicle PROGRESS  
Information Journal  
for Solving Problems Caused by Vehicles

自動車排ガスによる大気汚染を防止し、  
健康維持と職場・地域・地球環境の保全のために———  
車両の低害化と現実的な低公害車両の開発普及を目指す情報誌

CO<sub>2</sub>削減1.3%を実現！！  
東京トラックショーでデビューしました



CO<sub>2</sub>削減・高度化LPGトラック (CO-OP NEW LPG CARGO)

車両低害化推進のための

シンポジウム二〇〇五

を開催します

11

2005年11月1日

月号

通巻第178号 (創刊1990年6月)

LPGトラック 各地の生協で確実に拡大中

**前月比 +27台**

2005年10月25日現在

**5,450台** (先月5,423台)

転換率 **35.19%**

(3台に1台超えがLPGトラックに！！)

LPGトラックは全国の生協が育てた  
実用的な低公害車です。

# CO-OP・EVプログレス

生協活動	コープかながわ組合員向け写真ニュース Mio 2005東京トラックショーLPG展示	2
開催案内	車両低公害化推進のためのシンポジウム2005 11月18日に開催します	3
LPG特集	神奈川新聞 「生協・LPガストラック 低公害化 改造で前進」	5
	生協流通新聞 「次世代LPGトラック CO2を大幅に削減」	6
	プロバン新聞 生活商品情報 注目の先進型トラック CO2削減13%を達成	7
	輸送経済 ガソリン車を改造しLPG車に CO2を削減(予告記事)	8
	日刊自動車新聞 LPGエンジンに電子制御噴射採用	8
	ニュースリリース 先進型小型トラック、ガソリントラックに比較し、CO2削減13%	10
	燃料性状比較表	14
質問に答えて	小型1.5トントラックはどうなる?!	15
	ディーゼル高圧噴射でPMは新たな健康被害を生み出すか?!	18
新たな視点を	日本経済新聞 ディーゼル排ガス吸ったマウス 胎児にナノ粒子沈着 東京理科大など	18
	読売新聞 母がディーゼル排ガス吸引 胎児の脳に粒子蓄積 異常行動	18
	解説・・・・・・・・・・・・・・・・コープ低公害車開発株式会社 若狭良治	19
	「ディーゼル粒子シンポジウム」のご案内 (社)日本自動車研究所(JARI)	21
取材記	東京モーターショー2005、東京トラックショー2005 取材記	23
	全国生協LPG/ガソリン・軽油価格 比較表	28
	プロバン産業新聞 10月CP 史上最高に	28
LPG情報	プロバン新聞 CO高騰、末端価格に転嫁 OPEC 生産枠を据え置き	30
	全国生協LPGトラック導入状況	31
	物流事業者の導入状況 流通サービス・アシスト	33
月刊ニュートラック	斯界の達人・斯界の論客 第3回 39頁から35頁に逆にお読みください。	39
	日刊自動車新聞 DME中心に日仏の連携模索、第2回アジアDMEフォーラム 他	40
DME特集	次世代高性能・環境対応型ディーゼルエンジン技術で講演会	43
	日本経済新聞 道路・線路療養の車両 動産エネルギー活用	43

待望のVPI-LPG高性能小型トラックが完成した。元のガソリントラックの13%CO2削減を実現した。コープ低公害車開発では、このことを訴え続けてきたが決め手にかけていた。今回、日気サービスやニッキソルテック、伊藤忠エネクス、日産特販などと共同で開発に取り組み、削減効果のあることを実証できた。資源エネルギー庁のLPG業界構造改善のための調査事業を進めてきたが、本事業の目的の一部であるが、順調に進んでいることを喜びたい。さらに、整備を進めることで、一層の効果を期待したい。話が変わるが、ディーゼル排出ガスのナノ微粒子の健康被害問題は、深刻なものがあるように思う。エンジン技術者と話すと、採集は炭素原子になるから、炭素は無害だという話。そんな簡単に純炭素になるのであろうか? 思い込みは怖いと思う。アスベスト問題も根っこは一緒だと思う。早く手を打つことが必要ではないだろうか?

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更の方は、下記にメールないしはFAXをお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプログレス	発行	毎月1日 2005年10月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル 2F 〒222-0033		
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

CO-OP・EVプログレスは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。

# CO-OP・EVプロGRESS

CO-OP EcoVehicle PROGRESS  
Information Journal  
for Solving Problems Caused by Vehicles

自動車排ガスによる大気汚染を防止し、  
健康維持と職場・地域・地球環境の保全のために———  
車両の低害化と現実的な低公害車両の開発普及を目指す情報誌

2005東京トラックショーでデビュー  
10月12日～10月15日 東京ビックサイト



4頁から  
2005東京トラック  
ショー特集です。

CO<sub>2</sub>削減・高度化LPGトラック (CO-OP NEW LPG CARGO)

10

2005年10月1日  
月号

通巻第177号 (創刊1990年6月)

LPGトラック 各地の生協で確実に拡大中

**前月比 +15台**

2005年8月25日現在

**5,423台** (先月5,385台)

転換率 **35.04%**

(3台に1台超えがLPGトラックに!!)

LPGトラックは全国の生協が育てた  
実用的な低公害車です。

編集・発行 コープ低公害車開発株式会社

# CO-OP・EVプログレス

開催案内	車両低害化推進のためのシンポジウム2005 11月18日に開催します	2
2005 東 京 トラックショー	LPG車 先進型開発急ピッチ 高度化で燃費向上	3
	2005東京トラックショー LPG車普及促進講演会(10月13日) 案内	4
	2005東京トラックショー 開催直前丸ごとガイダンス 月刊ニュートラック 掲載	6
	だからLPGトラック!! トラックユーザーのためのLPG車導入ガイダンス	16
	●川口園芸 ●伊藤園 ●LPG産芥者23台 東都運業 ●ユーザーアンケート	26
	ディーゼル車から実用的で環境負荷の少ないLPG車へ	31
DME 特集	DME中心に日仏の連携模策 日仏クリーンカーセミナー JETRO(9月5日開催)	32
	日仏クリーンカーセミナーに参加して(編集部・木場)	33
	第2回 アジアDME会議(ワークショップ) 上海交通大学で開催	34
	DME-A Solution for Energy Security and Environmental Protection in China DME それは中国のエネルギーセキュリティと環境保護のための問題解決法 上海交通大学 教授 黄 震	37
LPG情報	全国生協LPG/ガソリン・軽油価格 比較表	52
LPG情報	全国生協LPGトラック導入状況	55
協賛金募集	2005年度 協賛会員を募集しています	58

9月14日～16日に第18回世界LPGフォーラム、9月18日～20日に第2回アジアDME会議の二つの会議が中国の上海市で行われた。物理的性状が良く似たLPGとDME。お互いのインフラ転用が可能と言われているが、日本で既に40年以上の歴史を有するLPGとまだまだ実用化(スプレー剤としては実用化している)がまだまだの感のあるDME。

しかし、上海から航空機で北へ1時間ほどのビールで有名な青島。そこから飛行機で30分ほどのところにある臨沂市。有名な沂水に接している臨沂市。その山東久泰科技化工有限公司では、政府からの補助もほとんどない中で、自力でプラントを建設し、独自の努力で民生用DMEをの普及に努めている。2002年から生産を開始したというが、既に15万トンの設備を作り、昨年までの3万トンから5万トンへ、来年は10万とへと生産を増やし、1万トンのスプレー剤需要以外は全て民生用へと意欲的に市場開拓・創造を進めている。既に社有乗用車40台にLPG+DME、軽油+DMEの混合燃料用のスタンドを設置して実証試験を行っている。また、上海交通大学・西安交通大学・吉林大学と共同でDME(ピュア、混合)の可能性を追究している。既に軽油+DMEのバスを試作した。排ガスを見たり、匂いを嗅いだりしたが、微粒子はともかく、白い布も汚れなかった。ピュアDME利用のバスは今年1月に完成するという。1年間の試乗を重ね、2006年度中には世界で初めての臨沂市の公共バスとして走らせたいと希望は大きい。社長はまだ40と若い。日本でDMEの歩みが遅いのはサラリーマンだからだろうか? 国・自治体・企業は「夢も! 度胸も! 政策も!」で中国にどうも負けているようだ。新潟や四日市のDMEメーカーは原料のメタノールの相場が良いのでなかなか踏ん切りがつかないようだが、中国で、「メタノール生産工場」があちこちにできたので、相場ががた落ちしてきて、先発中小は生産中止や廃業に追い込まれているという。中国の自動車の増加と今後の動向を見るとメタノールの相場が下がり、付加価値をつけたDMEが増産されるようになることは、世界的傾向になるのではないかと考えてしまった。原油の投機的先物相場の高騰が現物相場にも反映し、様々な物価を押し上げようとしてきている中で、DMEの可能性は様々な意味で国のエネルギー政策の根幹に据えるべきではないか?! 一方、上海では天然ガスブーム。日本の工業用・民生用天然ガスの動向を見ると、LPGは自動車用燃料として300万～600万台の大きなマーケットがあるような気がしてきた。DME+LPGで再生の時機か?! ！！

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更の方は、下記にメールないしはFAXをお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプログレス	発行	毎月1日 2005年10月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル 2F 〒222-0033		
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

CO-OP・EVプログレスは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。



# CO-OP・EVプログレス

開催予告	車両低公害化推進のためのシンポジウム2005 11月18日に開催し	2
DME特集	Economy 次世代燃料DME 排ガス、もっとクリーンに	3
	新燃料のトラックを実際に利用 高い排出ガス性能、低価格化が強み	4
	DME大型トラック 試作車デモ走行 DME実用化研究、試験進む	5
	NHKニュース クリーンエネルギーの大型トラック開発	7
	次世代低公害車開発プロジェクトで開発した大型トラックの概要 (独)交通安全環境研究所	13
ゼミナール 石油と世界	まったく新しい 近未来の“究極の”クリーン燃料 それがDMEです。	18
	代替エネー原子力 規模拡大、課題は多く	
	新エネ 主要国などで導入進む	39
	新エネ 日本、「2010年度3%」が目標	1
	日本の針路 エネルギー源の多様化急務	44
	日本の針路 総合的な国家戦略を	
検証	欧州で エコと言えばディーゼル車 は本当か?	45
燃料特集	原油高騰で、石油製品の小売価格も高騰 軽油20年ぶり80円台ほか	49
LPG情報	全国生協LPG/ガソリン・軽油価格 比較表	51
LPG情報	全国生協LPGトラック導入状況	55
協賛金募集	2005年度 協賛会員を募集しています	58

原油価格が本当に暴騰を始めた。このまま行くと、10ドルという話もあながちウソとも思えない。石油元売は、このような状況は輸入した状況で、先物価格の高値にシフトしていくから損ということを知らない状況が生まれる。最後の最後に、ババをつかむかが問題となる。石油業界にとって、積年の赤字を一掃する千載一遇のチャンスと次から次へと値上げのラッシュ状態である。ユーザーの防衛策としては燃料を如何に減らすかである。先日、お弁当配達事業者の組合から相談を受けた。全国で組合傘下の配達車両は軽バンで約1200台。これをLPGにしたいという。使用状況は4年で買い換えるほど消耗は激しいようだ。軽で名を成している2大メーカーの軽バンはドアが外れるだとか耳を疑うような事柄が多くて、今は室内も一番大きなメーカーのものを使用しているという。問題は、LPGへの改造費と燃料価格の差であるが、1日の走行距離は地域差はあるが概ね50km程度。4年間で、5万km。これで車両のリースが切れて代替わりとなる。車両は再リースする状況には無いという。LPGは燃料代は安い、ガソリン車の70%程度の走行燃費。それからすると、燃料代は、半値だと、ガソリン代の70%程度である。問題は、5万kmの燃料消費と改造費のバランスが合うかである。同じであれば意味が無い。いずれにしても、オートガスであるLPGの価格が、大阪なみであれば、みんなで一生懸命増やすことになるのであろうが。いずれにしても、LPG業界は不思議な世界。それでもやっと、現在の30万台に加えて26万台を増加させようという取り組みを開始した。最大の販促手段は、損をしないような、しかし、税抜価格が一番高いような値決めをしないことでしようね。LPGに罪は無い。売る人にその判断はあるのでしょうか。 若狭 m ( ) m

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更の方は、下記にメールないしはFAXをお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプログレス	発行	毎月 1日 2005年6月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル 2F 〒222-0033		
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

CO-OP・EVプログレスは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。

# CO-OP・EVプログレス

CO-OP EcoVehicle PROGRESS  
Information Journal  
for Solving Problems Caused by Vehicles

自動車排ガスによる大気汚染を防止し、  
健康維持と職場・地域・地球環境の保全のために———  
車両の低害化と現実的な低公害車両の開発普及を目指す情報誌

Organized by  
Shanghai Jiao Tong University

Sponsors  
China DME Association  
Japan DME Forum  
Korea DME Forum

Co-Sponsor  
International DME Association

Honorary Chairman:  
Academician Weidou NI  
Tsinghua University

Chairman:  
Professor Zhen HUANG  
Shanghai Jiao Tong University

Local Organizing Committee:  
Professor Bingang WANG  
The Expertise Center for  
Clean Energy Conversion

Secretary General:  
Professor Xinqi QIAO  
Shanghai Jiao Tong University

For more information regarding  
the conference, please contact:  
Junjie LIU  
Tel: 8621-34203100

2005年8月1日  
**8** 月号

通巻第175号 (創刊1990年6月)

Conference Website:

ANNOUNCEMENT AND  
CALL FOR PAPERS:  
**2<sup>nd</sup> ASIAN DME CONFERENCE**  
September 18 - 20, 2005  
Shanghai Jiao Tong University  
Shanghai, P.R. China

INTRODUCTION  
2<sup>nd</sup> Asian DME Conference will be held on September 18-20, 2005 at Shanghai Jiao Tong University, Shanghai, China. The conference will discuss the opportunities and challenges for DME as a clean fuel and chemical feedstock, and the international technologies and experiences of practitioners. The topics to be discussed include:  
1. DME production  
2. DME storage, safety and environment  
3. DME application in power generation, vehicle and transportation  
4. DME application in commercial, industry and power generation  
5. DME application in domestic (household)  
6. DME storage, safety and environment  
7. Other related topics

IMPORTANT DATES  
May 31: Registration closes  
June 30: Paper submission deadline  
July 31: Paper review deadline

PAPER SUBMISSION  
Please send your paper to:  
Xinqi QIAO  
Junjie LIU  
Jinglu LIU  
54 Huan

REGISTRATION FEE  
The registration fee includes a volume of proceedings, working lunches.

**LPGトラック 各地の生協で確実に拡大中**  
**前月比 +19台**  
2005年7月26日現在  
**5,370台** (先月5,351台)  
転換率 **34.35%**  
(3台に1台超えがLPGトラックに!!)  
LPGトラックは全国の生協が育てた  
実用的な低公害車です。

編集・発行 コープ低公害車開発株式会社

# CO-OP・EVプログレス

# 8月号

活動報告	生協の活動 コープかながわ 低公害車普及大賞を受賞!	2
提 案	LPG配送トラックの高出力・低燃費化(CO2削減)を実現しましょう!	3
ニ ュ ー ス	JOGMEC DME燃料利用技術研究開発 平成16年度成果報告会	13
情 報	次世代低公害車プロジェクトで開発した大型DMEトラックの試験走行公開のご案内	14
情 報	エコカーワールド2005 開催 月刊ニュートラック 7月号掲載記事	17
情 報	Mobi 21 環境最新情報 ~ ビバダム・フォーラム・アンド・ラリー ~	19
ゼ ミ ナ ール	石油と世界 日本経済新聞 企画掲載記事 (財)日本エネルギー経済研究所 著作	23
情 報	原油高騰の危機 24~26 シグナル発見「高騰の裏で余剰感 27~30	23   51
	NY原油 60ドル突破 31~35 原油パイプライン 中国ルート優先 36	
	ロシア大統領 11月来日 37 可採埋蔵量 38~42	
	原油価格の高騰について思うこと 黒木剛司 43~46 DME知識 47~51	
L P G 情 報	全国生協LPG/ガソリン・軽油価格 比較表	52
協 賛 金 募 集	2005年度 協賛会員を募集しています	55
L P G 情 報	全国生協LPGトラック導入状況	57
L P G 情 報	流通サービス・アシスト 生協別・事業所別台数配置表	59

今回はまったく違う話をひとつ。テレビを見ていたら、アメリカの葬儀産業が明朗会計を売り物に日本の葬儀事業へ乗り出して、評判が良いとの話である。また、国会で話題の郵政民営化議論で、民営化の要求はアメリカの要求だという意見と小泉さんは20年来の持論だから昨日今日の話ではないというような議論をやはりテレビの討論会で見た。

そこで、私自身の経験だが、今から20年ほど前から5年間、職域にある生活協同組合の経営指導などの役職についてきたことがある(前職の日本生活協同組合連合会時代)。1992年には学生が減り始め、2007年に人口が減少を始めるといふことだとか、高齢化社会の急速な進展とか、福祉社会の必要性だとかを議論する中で、職場の生協の生きる道を様々に検討した。その中で、葬儀事業は逆に対象者が増えていくことと同時に葬家の親類は減少していくこと。その中で亡くなった方との体面を重んずる欧風の棺おけ葬式が重要になってくるということや、欧米のように生前に棺おけを購入したり、本人自身が葬式の予約をする時代がやってくるというような話を葬儀事業研究会を立ち上げて勉強したことを思い出した。その時、アメリカ大使館の商務官が言っていたのだが、アメリカにはAPAという組織があり、日米の貿易不均衡を是正することを追究する組織で、その最大の目的は、日本と米国の文化的経済的環境の同一性の醸成であり、商務官の大きな役割もそこにあるというようなことである。それらの事柄はその後確実に日本に根付いていった。エンバーミングという遺体を生きていたような状態に保ち、故人とのお別れをする棺おけ葬式の方式は、いつの間にか保健所の許可もあり、米国の葬儀産業が日本で評判が良いという事態になったのだと思うのである。15年前、カリフォルニア州サクラメント市で学んだ自動車排気ガス規制への厳しさも日本でも当たり前になりつつある。大きな枠組みがひしひしと迫ってくるのを感じるのである。「良い?」ことも「悪い?」こともである。65歳以上の高齢者割合が7%から14%になるのに要した年数。日本は26年、フランスは165年、スウェーデン85年、アメリカ75年、西ドイツ・イギリス45年だそうだ。 若狭

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更の方は、下記にメールないしはFAXをお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプログレス	発行	毎月 1日	2005年6月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治	
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル 2F 〒222-0033			
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924	
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp	
URL	http://www.co-opev.co.jp/			

CO-OP・EVプログレスは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。

# CO-OP・EVプログレス

CO-OP EcoVehicle PROGRESS  
Information Journal  
for Solving Problems Caused by Vehicles

自動車排ガスによる大気汚染を防止し、  
健康維持と職場・地域・地球環境の保全のために———  
車両の低害化と現実的な低公害車両の開発普及を目指す情報誌

## おかげさまで15周年

第16期 役員名簿

役職名	氏名	生活協同組合名称	生協役職名称	
代表取締役社長	小林 勉	生活協同組合コープかながわ	理事長	重任
代表取締役専務	若狭良治	常勤専従		重任
取締役	當具伸一	生活協同組合コープかながわ	常勤理事	重任
同	越淵堅志	生活協同組合コープしずおか	理事長	重任
同	小沢一郎	生活協同組合連合会首都圏コープ事業連合	専務補佐	重任
同	中 政治	市民生活協同組合ならコープ	常務理事	新任
同	奥井和久	生活協同組合おおさかパルコープ	運営部長	重任
同	水野隼人	生活協同組合コープぎふ	理事長	重任
同	岩田孝和	東都生活協同組合	専務理事	重任
同	横山弘成	生活協同組合ひろしま	管理部長	重任
同	定面大輔	大阪いずみ市民生活協同組合	人事総務部長	新任
監査役	小川義雄	生活協同組合ちばコープ	環境推進室長	非改選
同	渡辺 秀	めいきん生活協同組合	共同購入支援本部統括	非改選

2005年6月4日(土) 15:00～ コープ低公害車開発株式会社第15期定時株主総会で選任されました。

# 7

2005年7月1日

## 月号

通巻第174号 (創刊1990年6月)

LPGトラック 各地の生協で確実に拡大中

**前月比 +63台**

2005年6月25日現在

**5,345台** (先月5,288台)

転換率 **34.35%**

(3台に1台超えがLPGトラックに!!)

LPGトラックは全国の生協が育てた  
実用的な低公害車です。

編集・発行 コープ低公害車開発株式会社

# CO-OP・EVプログレス

表紙	おかげさまで15周年 第16期 コープ低公害車開発株式会社 役員名簿	1
開催報告	コープ低公害車開発株式会社 第15期 定時株主総会 開催報告	2
開催報告	エコカーワールド2005/エコカーライフ2005 が開催されました。	7
取材	エコカーワールド2005 取材記 村山節子・木場吉子・中井浩子	8
情報	トレンド・アイ 日本初上陸 ビハンタム・フォーラム&ラリー	14
お知らせ	JOGMEC 平成16年度 提案公募事業 成果報告会 開催のお知らせ	18
LPG情報	トピックス 各地でLPG自動車の展示会を開催!!	16
LPG情報	人と地球にスマイルを 需要創造へ業界一丸	17
LPG情報	LPガスのグッド・イメージ	18
DME情報	DME自動車実用化研究開発事業紹介	20
DME情報	第2回 アジアDME会議(案内)	29
DME情報	2005 エルピーガス振興センターセミナー 開催のご案内	30
協賛金募集	2005年度 協賛会員を募集しています	32
LPG情報	全国生協LPG/ガソリン・軽油価格 比較表	34
燃料情報	レスポンス 週刊ガソリン価格 県別比較表(6.3/6.10/6.17)	35
LPG情報	全国生協LPGトラック導入状況	37
LPG情報	流通サービス 生協別配車状況表	39

さて、「原油価格の高騰もようやく収まり始めました」と先月書いたが、事態はますますおかしくなってきた。米国の年金などの巨大資金がその原因とも言う。需給見通して需要がますます増大するとの判断で動いているという。状況によっては、100ドルも視野とのわけのわからない話である。このような状況で活況を呈しているのが石油業界である。ところが、深刻な問題がひとつ。日本国内では軽油がだぶついているという。そもそも、利益優先でディーゼル車対策をいっ加減にして利益を上げてきた石油業界、自動車業界、運送業界は、今度は、地球温暖化を理由に再び軽油を売り込もうと必死である。国民・消費者も地球に優しくの美名のもと、何が何でもCO2削減という状況。結果として省エネ・節エネにつながることは悪いことではない。しかし、軽油によるディーゼル排ガス汚染が完全に解決したわけではない。また、自動車排ガス公害、健康被害そのものがなくなったわけではない。未解決問題は山ほどある。2009年には一段と厳しい自動車排ガス規制が実施される。いわゆるポスト新長期規制である。ところが現行規制の4★で環境問題は解決したかのような宣伝がされる。また、原油高で可採埋蔵量は40年から60年に増えたという。だから、新エネルギー、DMEなんかやめろと言うような話も聞く昨今である。のどもと過ぎれば暑さを忘れる。目先の採算に地球温暖化を結びつける展開の方法はいかなものかと考えてしまうのである。それでいて、いつ実現するかわからない水素社会の話。原油100ドルでも採算が合うのか?若

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更の方は、下記にメールないしはFAXをお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプログレス	発行	毎月1日 2005年6月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル	2F	〒222-0033
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

CO-OP・EVプログレスは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。

# CO-OP・EVプロGRESS

CO-OP EcoVehicle PROGRESS  
Information Journal  
for Solving Problems Caused by Vehicles

自動車排ガスによる大気汚染を防止し、  
健康維持と職場・地域・地球環境の保全のために———  
車両の低害化と現実的な低公害車両の開発普及を目指す情報誌



VOLVO 最新のDMEトラック  
ついに完成、発表

ストックホルムにて



中国 初の DME都市バス  
ついに完成、登場

上海にて

# 6

2005年6月1日  
月号

通巻第173号 (創刊1990年6月)

編集・発行 コープ低公害車開発株式会社

LPGトラック 各地の生協で確実に拡大中

**前月比 +17台**

2005年5月25日現在

**5,288台** (先月5,271台)

転換率 33.95%

(3台に1台超えがLPGトラックに!!)

LPGトラックは全国の生協が育てた  
実用的な低公害車です。

# CO-OP・EVプロGRESS

表紙	DMEトラック 走行距離10,000km達成! 低公害車フェアなごや2005に展示	1
お知らせ	エコカーワールド2005 6月11日~12日 横浜市・赤レンガ倉庫イベント広場	2
LPG情報	LPG-V GUIDE・LPG豆知識	5
LPG情報	全国生協トラック導入状況	11
LPG情報	株式会社 流通サービス 生協別メーカー別車両台数	13
DME情報	DMEの知識	14
お知らせ	JOGMEC 平成16年度 提案公募事業 成果報告会 開催のお知らせ	18
DME情報	DME自動車パンフレット	21
DME情報	中国DME情報 中国初のDME都市バス登場!! (中国語)	25
DME情報	中国DME情報 中国初のDME都市バス登場!! (日本語翻訳)	27
DME情報	中国DME情報 中国初のDME都市バス成果報告会 議事次第	29
LPG情報	中国DME情報 中国初のDME都市バス成果報告会 発表資料(中国・日本語)	31
DME・GTL・バイオ	自動車用燃料「脱石油」競う ほか	36
燃料費高騰	燃料費高騰の余波	41
温暖化対策	次世代技術 本命を争う	43
LPG情報	全国生協LPG/ガソリン・軽油価格 比較表	47
燃料情報	レスポンス 週刊ガソリン価格 県別比較表(5.20/4.15)	48
協賛金募集	2005年度 協賛会員を募集しています	51
JOGMEC	独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 英文活動紹介 (CO-OP・EV)	53
目次	今月は、60頁です。中国のDME都市バスの最新情報をいれました	60

<7月にシンポジウムを計画しましたが、2005年度の活動を始めたばかりであり、情報の提供を含めて豊富にすることを考慮し、日程を変更します。詳細はさらにつめますが、11月18日に予定しますのでよろしくお願いします。>

さて、原油価格の高騰もようやく収まり始めました。

今月は、環境省の「エコカーワールド2005」。DME自動車は3台が元気に並びます。

資源エネルギー庁の公募していたLPG業界構造改善調査事業に共同で応募し、採用されました。

特に、LPGトラックの高度化を目指し、燃費の良い車両を開発します。ご協力のほどお願いいたします。

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更の方は、下記にメールないしはFAXでお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプロGRESS	発行	毎月1日 2005年6月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル		2F 〒222-0033
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

CO-OP・EVプロGRESSは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。

# CO-OP・EVプログレス

CO-OP EcoVehicle PROGRESS  
INFORMATION JOURNAL  
FOR SOLVING PROBLEMS CAUSED BY VEHICLES

自動車排ガスによる大気汚染を防止し、  
健康維持と職場・地域・地球環境の保全のために——  
車両の低害化と現実的な低公害車両の開発普及を目指す情報誌

## 走行試験10,000km達成！

- 5月14～16日 低公害車フェアなごや2005 展示
- 6月11～12日 エコカーワールド2005 展示



新潟市黒鳥 東邦アーステック内 自動車用燃料DME 調合&充填ステーション

# 5

2005年5月1日

## 月号

通巻第172号 (創刊1990年6月)

編集・発行 コープ低公害車開発株式会社

LPGトラック 各地の生協で確実に拡大中

**前月比 +63台**

2005年4月23日現在

**5,271台** (先月5,208台)

転換率 33.77%

(3台に1台超えがLPGトラックに!!)

LPGトラックは全国の生協が育てた  
実用的な低公害車です。

# CO-OP・EVプログレス

表紙	DMEトラック 走行距離10,000km達成! 低公害車フェアなごや2005に展示	1
案内	低公害車フェアなごや2005 5月14日~15日 名古屋市が主催	2
LPG情報	クリーン燃料としてのガス体エネルギー(LPG/DME)	3
LPG情報	LPG 燃料電池用で急浮上(上)(中)(下)	4
LPG情報	三菱液化ガス、経済性向上(燃料電池向け脱硫器)、燃料電池用LPGの供給実証試験開始へ	6
燃料・自動車情報	石油代替燃料(きょうのことは)	8
燃料・自動車情報	石油メジャー、天然ガス開発強化	8
燃料・自動車情報	GTL関連情報	9
燃料・自動車情報	2004年度市場動向調査(トラック編=日本自動車工業会まとめ)	10
燃料・自動車情報	ハイブリッド自動車情報	11
特別報告	2005年度方針の策定のために <span style="float:right">コープ低公害車開発株式会社</span>	13
LPG情報	先進LPG自動車CO2削減効果と開発状況 <span style="float:right">日産特販株式会社</span>	19
LPG情報	全国生協LPG/ガソリン・軽油価格 比較表	28
燃料情報	レスポンス 週刊ガソリン価格 2週比較表(4.22/4.15)	29
燃料情報	原油の動き など情報を集録	
LPG情報	全国生協トラック導入状況	37
LPG情報	株式会社流通サービス 生協別メーカー別車両台数	39
目次	今月は、40頁です。	40
協賛会員募集	車両の低公害化をさらにすすめるために!! 2005年度募集/協賛会員芳名録	41

<7月にシンポジウムを計画しましたが、2005年度の活動を始めたばかりであり、情報の提供を含めて豊富にすることを考慮し、日程を変更します。詳細はさらにつめますが、11月後半を予定しますのでよろしくお願いします。>

さて、原油価格の高騰を理由にして、ガソリン小売価格が値上りしている。しかし、おかしなことに、日本国内の石油元売や卸業者は、高利益に沸きかえっているという。そんなことを昔経験したことがある。昭和48年の第1時オイルショックを経験したものにとっては、まったく腹立たしい思いをしたものである。歴史は繰り返すというが、まったく同じ現象が生まれている。当時も、マスコミは狂乱物価を報道するだけで価格の高騰を批判しなかった。今回も同じ状況が生まれている。悲しいかな・・・。一般消費者はあきらめて高いガソリンを買うのか。そんなことはな不況はごめんだ・・・。

こんなときこそ、LPG事業者は冷静に、便乗値上げなどしないで、こんな時だからこそ、普及に努力していただきたいと祈るばかりである。ガソリンに流れた個人タクシーを取り戻す「千載一遇」のチャンスなのだから!!

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更の方は、下記にメールないしはFAXをお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプログレス	発行	毎月 1日 2005年4月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル	2F	〒222-0033
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

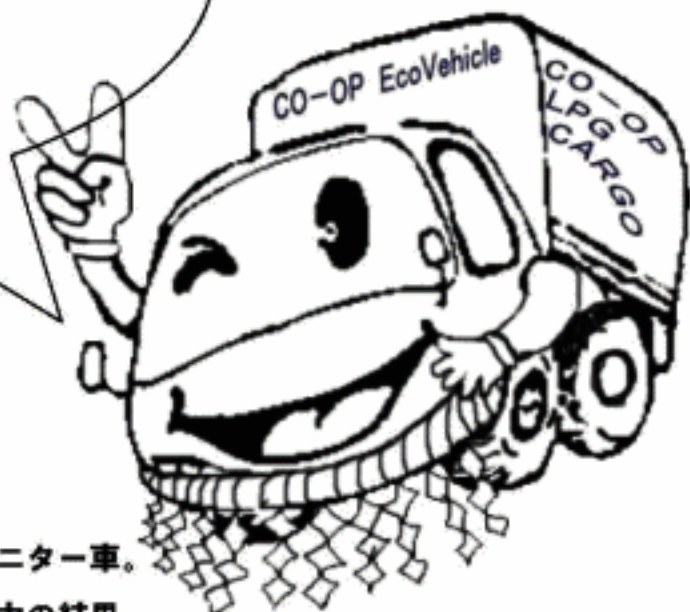
CO-OP・EVプログレスは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。

# CO-OP・EVプロGRESS

CO-OP EcoVehicle PROGRESS  
INFORMATION JOURNAL  
FOR SOLVING PROBLEMS CAUSED BY VEHICLES

自動車排ガスによる大気汚染を防止し、  
健康維持と職場・地域・地球環境の保全のために———  
車両の低害化と現実的な低公害車両の開発普及を目指す情報誌

ヤッホー！！33.37%  
3台に1台がLPGトラック  
になったんだよ！



1993年11月に完成したLPGトラック・モニター車。  
1994年7月導入以来、苦節10年9カ月の努力の結果。  
導入生協、生協のお取引先運送事業者さまのおかげです！！

# 4

2005年4月1日

## 月号

通巻第171号 (創刊1990年6月)

LPGトラック 各地の生協で確実に拡大中

**前月比 +33台**

2005年3月25日現在

**5,208台** (先月5,175台)

転換率 33.37%

(3台に1台がLPGトラックに！！)

LPGトラックは全国の生協が育てた  
実用的な低公害車です。

編集・発行 コープ低公害車開発株式会社

# CO-OP・EVプロGRESS

表紙	ヤッホー!! 33.37%。3台に1台がLPGトラックになったんだよ!	1
開催予告	車両低公害化推進のためのシンポジウム2005 7月21(木)~22日(金)(新横浜)	2
DME情報	JFE広報映像紹介	3
DME情報	有限会社DME開発 6月からDME設備連続運転	13
DME情報	イランでDMEプラント副生廃水 農・工業用水向け再生	14
DME情報	DMEトラック 初の事業走行テスト	15
LPG情報	LPG自動車普及講演会.....LPG自動車普及促進協議会	18
LPG情報	LPG車普及のために 88~89 プロパン産業新聞 連載記事	20
LPG情報	LPG国際セミナー エルピーガス振興センター	22
LPG情報	福岡県西方沖地震 空白地帯で震度6弱 M7に耐えたライフライン	25
LPG情報	LPG-V情報.....LPG自動車普及促進協議会	26
LPG情報	世界のLPG大型バス・調査 コープ低公害車開発株式会社	28
LPG情報	LPG-V情報.....LPG自動車普及促進協議会	42
協賛会員募集	車両の低公害化をさらにすすめるために!! 2005年度募集/協賛会員芳名録	51
LPG情報	全国生協LPG/ガソリン・軽油価格 比較表	53
LPG情報	全国生協トラック導入状況	56
LPG情報	株式会社流通サービス、株式会社全通、株式会社アシストLPG車導入状況(生協別配置)	58

コープ低公害車開発株式会社(コープEV)は、1994年以来進めてきたLPGトラックの研究開発及び普及の活動は2004年11月末で5,000台を超え、最新の状況では5,208台、転換率は33.37%となり、3台に1台がLPGトラックになった勤定です。生協と東京都が率先して導入を進めて来たLPGトラックは、この11年足らずで3万台になりましたが、その6分の1を生協が担っています。国が厚い保護政策で推進しているNG自動車は、合計で2.3万台、トラックは1万台弱となっています。それから見ても、生協における車両低公害化への努力と取り組みが効果をあげていることがわかります。また、コープEVは、2002年度からJFEや三菱ガス化学、岩谷産業、伊藤忠商事などの大企業と一緒に、石油公団(現在の独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構)の公募事業に応募し、主幹会社として次世代低公害車燃料であるDME(ジメチルエーテル)自動車・つくば・横浜にDMEスタンドを作っています。又、神奈川県臨海部のDME自動車モデル事業とも提携し、この2月には川崎市に4カ所目のDMEスタンドを建設し、初の事業用DMEトラックを走行させるにいたっています。

また、資源エネルギー庁の調査事業を受託し、韓国から最新式のLPG大型バスを国内に持ち込み、実証走行試験を行いました。今後、生協で使用している1.5トントラックなどの性能・燃費向上のための高度化の取り組みの準備をしています。これらが実現すると、生協でのLPGトラックの燃費が向上し、炭酸ガスの発生が一段と削減されます。

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更は、下記にメールないしはFAXをお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプロGRESS	発行	毎月1日 2005年4月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル		2F 〒222-0033
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

CO-OP・EVプロGRESSは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。

# CO-OP・EVプログレス

表紙	クレーン付DMEトラックと窒素加圧型DME充填ステーション 排ガスも好調!!	1
ニュースリリース	初のDMEトラックの事業用走行開始とDMEステーション増設	2
DME情報	<トレンド・アイ> PM排出量ゼロ 「DME車実用化へ最終段階」	4
レポート	DME発表説明会・出発式典に参加して(コープ低公害車開発㈱ 職員レポート)	6
DME情報	三菱ガス化学・伊藤忠商事、ジメチルエーテル、バプアで事業化調査	11
DME情報	2月15日 クレーン付DMEトラック・DME充填ステーション発表関連記事	12
DME情報	新聞情報 DME製造プラント等情報	18
DME情報	DMEトラック 公道は知る長距離試験開始 供給インフラ評価 (日経産業新聞)	22
DME情報	DME自動車バンフレット 表紙の紹介	23
LPG情報	LPG車普及のために 85~87 プロパン産業新聞 連載記事	24
協賛会員募集	車両の低公害化をさらにすすめるために!! 2005年度募集/協賛会員芳名録	27
LPG情報	全国生協LPG/ガソリン・軽油価格比較表	29
LPG情報	全国生協トラック導入状況	31
LPG情報	株式会社流通サービス、株式会社全通、株式会社アシストLPG車導入状況(生協別配置)	33
排ガス規制	ポスト新長期規制 2009年度 新車から適用! 報道記事・環境省資料	35
お知らせ	国土交通省 次世代低公害車・燃料電池自動車国際シンポジウム	48
特報	LPGガス合成技術の進歩—新燃料の開発状況と展望 プロパン産業新聞新年特大号から 59頁からお読みください。	59→50

2月15日にJFEの京浜ビル及びTHINKで、クレーン付DMEトラックとDME充填ステーションの発表説明会と出発式を行った。昨年、12月16日にDME中型トラックの長距離公道テストを行い、新潟で発表説明会を行ったが、段々と関心が高まっていくのが実感される。今回は、阿部川崎市長をはじめ、川崎市環境関連の部署の幹部の方々が多く参加されたことは感謝、感謝である。このような取り組みは、実際に車ができて、充填ステーションができて、仕事で使うような積み上げが確実にできてくると、期待も大きくなり、次へのステップが要望されるようになる。

2008年のDME元年に向けて、DMEメーカーの動きも具体的になってきつつある。DMEには、天然ガスや石炭ガス、バイオマスなどからメタノールを経てDMEに脱水合成する2段階方式と直接合成する1段階方式がある。現在、メタノールの市場が堅調に推移し、中国でもメタノール製造プラントの開設が盛んになりつつある。また、それによって、DMEの価格も徐々に見通しが出てきているようだ。当面は、軽油並みに税金を払うことが困難でも、やがて同等に払う時代もそんなに遠くないと考えられる。税金を払うことができることは一人前の証である。ユーザーとしては安いに越したことは無いが、優れた燃料であるDMEが確実に歩みを速めてくれることを切に望むものである。

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更は、下記にメールないしはFAXをお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプログレス	発行	毎月1日 2005年1月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル		2F 〒222-0033
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

CO-OP・EVプログレスは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。

# CO-OP・EVプロGRESS

表紙	写真：2008年DME元年に向かって関越道をひた走る	1
DME情報	地球環境 実用化にまた一步 DMEトラックのフリーテスト始まる	2
DME情報	DME車 公道を走る!! 長距離耐久試験実施 1回の充填で500km	3
特集	自動車のCO <sub>2</sub> (炭酸ガス)排出量を計算する	4
報告	DME中国調査報告 (2005年1月12日~16日)	9
資料	Welcome Japan DME Delegation to SJTU (上海交通大学)	20
資料	NHK「おはよう日本」 「低公害の大型車開発の最前線について」	35
情報	JDFメールマガジン第18号 2005年1月5日発行	46
協賛金募集	車両の低公害化をさらにすすめるために!! 2005年度募集/協賛会員芳名録	50
情報	全国生協LPG/ガソリン・軽油価格比較表	52
情報	レスポンス 週刊ガソリン価格ランキング 2005年1月21日号	54
情報	全国生協トラック導入状況	55
資料	株式会社流通サービス、株式会社全通、株式会社アシストLPG車導入状況(生協別配置)	57
新聞記事	ごみ収集にLPG車導入 筑後市、試験的に1台/福岡、トーエネックがLPG車導入	58
新聞記事	新成長路線 研究開発型企業の挑戦 ビーコム LPG併用車に改造	59

正月休みを少し伸ばしてカミさんに刈られて、モロッコを旅してきた。サハラで見た日の出もすばらしかったが、それよりも、イスラム圏の人々の健やかなこと。イラクのことがなぜなのかを不思議に思わざるを得なかった。生活教ともいわれるイスラムの教えは、厳しい自然環境の中で信仰されてきたものであることを感ぜざるを得なかった。

参加した36名の旅人は、海外旅行になれた人々で、それだけに、モロッコの風土を楽しみながらともに旅をすることができた。その共に旅をした方々が同じような感想を述べていた。なぜ、イラク戦争なのか? 難しい話は別にして、素直に身を任せ、耳を傾けたいと思う。

1月12日~16日の日程で、上海交通大学と山東省の久泰能源科技股份有限公司を訪問してきた。詳しくは、本誌9頁からの報告を読んでいただきたい。中国のすさまじい経済発展の中で、エネルギー問題は待たなしの対策を求めており、国としても緊急の課題であり、そのことが新しいビジネスチャンスでもある。久泰の崔社長(董事長)は38歳。副經理の李奇さんは一回り若い。DME合成の特許をとったという。若い力と大胆な行動力。DMEを大きなエネルギー源にしようたくましく活動している。日本での取り組みは、自動車やボイラーなど応用面で進んでいるが肝心の燃料開発の具体策は今年が正念場となるようだが、企業はどのような展望を示してくれるだろうか?

DMEは、付合うほどに面白い燃料であり、クリーンな燃料であることがわかってくるが、それを生かすも殺すも、最終的には生産コストが全て。私の夢は、自動車もさることながら、日本の沿岸の漁船やフェリーなどを全てDMEにして、漁業資源を守り、大気汚染を防止すること。現在の燃料である重油の流失による汚染を防止する決め手のように思う。

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更は、下記にメールないしはFAXをお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプロGRESS	発行	毎月1日 2005年1月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル	2F	〒222-0033
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

CO-OP・EVプロGRESSは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。

# CO-OP・EVプロGRESS

表紙	謹賀新年 写真：2008年DME元年に向かって関越道をひた走る	1
DME情報	つくば⇄新潟 低公害燃料使用のDME自動車 新潟で実証試験説明会	2
特集	来日した韓国の最新LPGバス バスラマインターナショナル 2005年1月号	9
特集	韓国製大型LPGバスのテスト走行始まる 月刊ニュートラック 2004年12月号	17
ニュースリリース	車両総重量8トンDMEトラックの初の長距離公道走行実施およびインフラ整備について	20
資料	DME自動車 パンフレット(4頁)	23
資料	平成16年度 DME自動車実用化研究開発に関する説明会(会場での説明資料)	27
情報	中国DME見聞記 日本合成ガス触媒委員会副委員長 藤子 弘/プロパン産業新聞 掲載特集記事	30
長期連載特集	LPG車普及のために 第80回~第84回 プロパン産業新聞 掲載特集記事	34
レポート	九州DME研究会 「DME普及・啓発セミナー」	40
特集	「世界のエネルギー資源の現状と展望」(自動車技術 2004.11抜粋)	44
協賛金募集	車両の低公害化をさらにすすめるために!! 2005年度募集/協賛会員芳名録	52
情報	全国生協LPG/ガソリン・軽油価格比較表	54
資料	株式会社流通サービス、株式会社全通 LPG車導入状況(生協別配置)	57
情報	全国生協トラック導入状況	58

12月15日~17日、「つくば⇄新潟 DMEトラック長距離走行試験」に同行し、16日は、新潟市内で説明会を開催した。新潟中越地震の傷跡も生々しい小千谷市を通る関越道を通って新潟に入っただけに、新潟県産業労働部の白倉副部長に歓迎の挨拶をいただき、「ホッと」したのが実感であった。新潟県には、DMEを生産している三菱ガス化学の工場があることから、2年前の計画段階から新潟に自動車用DMEの調合設備を設置し、充填ステーションを併設し、DMEトラックでの長距離走行を企画して邁進してきた。「災」の字に象徴されるように様々な状況の中で、無事にここまでこぎつけられたことを喜びたい。2008年を目指して、三菱ガス化学やJFEが頑張っているが、お隣中国では、山東省の久泰科技公司では、日本の年間生産量の3倍を生産し、一般家庭の燃料としてまで供給を行っている。10年後には日本の2倍の車両を保有するようになるといわれており、燃料の問題は深刻である。天然ガス、LPG、ガソリン、軽油を目的別に使用区分をしていく総合エネルギーを推進している。DMEは、近年急激に関心を高めており、昨年10月に中国上海でDME国際フォーラムを開催した。それから1年間で、DMEに対する技術は確実に前進した。また、関心もたった1年でこんなに変化するかというほど盛り上がりが出てきたようだ。NHKが、12月21日の「おはよう日本」で取り上げてくれた。自動車のみがDMEで実用域に到達しても、燃料、それも、経済的に合う値段で大量に輸入されてこない限り、実用化とは言わない。CNG車のように、燃料は電力会社や家庭でも消費するような実用的な燃料ではあるが、移動体である自動車用燃料として向いていない場合、15年にわたる普及活動でも依然として税金食いの車両である。DMEを同じような境遇にはしてはいけないし、そうはならないと思いたい。

この情報誌の送付を希望される方、送付先変更は、下記にメールないしはFAXをお願いします。

月刊誌	CO-OP・EVプロGRESS	発行	毎月1日 2005年1月1日
発行所	コープ低公害車開発株式会社	発行責任者	若狭 良治
住所	横浜市港北区新横浜二丁目5番地11 金子第1ビル	2F	〒222-0033
TEL	045-472-7913	FAX	045-472-7924
メール	head@co-opev.co.jp	メール	wakasa@co-opev.co.jp
URL	http://www.co-opev.co.jp/		

CO-OP・EVプロGRESSは無料で送付しています。活動の支援として、協賛会員の登録をお願いします。